

届けたい、いま美容師にできること。



東日本大震災 美容界支援プロジェクト

# Beauty Force

3.11を忘れない。みんなで考えよう。“いま私たちに何ができる？”

「1000年に一度の大震災。半年くらいで忘れてはいけない」

ある被災者の言葉が印象に残りました。近頃はメディアでの報道も減り、人々の記憶も薄れつつありますが、それでいいのでしょうか。

震災や津波ですべてを失った被災者にとって、本当に支援が必要なのはこれからなのです。

ビューティフォースの信条は、美容を通して被災者や被災した美容師の助けになること。

必要な道具を届ける美容物資支援を中心に、1軒でも多くのサロンが営業再開できるよう、支援を続けていきます！

## ★ ビューティフォース活動年表 ★

[ 月 日 ]	[ 活動内容 ]
4月1日	9人の美容師が発起人となり、Beauty Force 発足。
4月12日	原宿・表参道駅で、街頭募金を実施。
4月19日	被災者への美容支援として、被災地でのボランティアカットを開始。 ※近隣の美容室が流され、支援の手も届きにくい孤立した避難所に限定して実施。 地元美容室が営業再開はじめた6月末に終了。
5月17日	「ワンコイン for ワンカット※」による収入支援をスタート。 ※ワンコイン for ワンカットとは避難所で被災した美容師がボランティアカットをすると、被災者の代わりに Beauty Force から一人につき、ワンコイン 500 円が支援金として提供されます。
5月17日	営業再開を目指す被災地の理美容室に、必要な美容道具を届ける美容物資支援をスタート。
5月24日	表参道ヒルズにて、チャリティイベント「The meeting at omotesando」を開催。
6月03日	オリジナルグッズとしてリングコームを制作。1000本が完売。
6月6・7日	被災地にて日本理美容福祉協会、Beauty Force、HELP FROM BEAUTY による被災された理美容師に向けた合同支援説明会を開催。
8月11日	被災地で LIGHT UP NIPPON 花火大会 イベント(仙台)に参加。
8月12日	三菱商事より東日本大震災復興支援助成金として当団体に 250 万円が支給。
9月30日	新聞広告支援として「東海新報」に純広告を出広。
10月1日	新聞広告支援として「三陸新報」に純広告を出広。
11月7日	仙台市で開催された美容界復興支援イベントに参加。
12月6日	実行委員 9 名によるチャリティセミナーを開催、350 人以上を動員。



原宿・表参道の駅周辺6か所で支援を呼びかけ、1日で何と650,000円もの募金が集まりました。



岩手県、宮城県、福島県の13か所で合計19回実施。66名の美容師を派遣し、542名の被災者にボランティアカットを行いました。



多くのメーカー様、メンバーサロン様から物資提供をして頂き、足りない分は支援金で充てて購入。現在までに、200軒以上のサロンに延べ250件の美容道具を提供しました。



表参道ヒルズで「伝手プロジェクト」と合同開催。多くの美容師や美容関係者が駆けつけ、500名を動員。さらに約50名のサロンモデルが無償協力し、イベントを盛り上げてくれました。



「Beauty Force」「日本理美容福祉協会」「Help From Beauty」の3者合同で、被災された理美容師への支援説明会を実施。いまの状況や問題、支援についての要望や意見などを詳しく伺いました。



ビューティフォース実行委員・木村文一が司会、およびカットセミナーを担当。被災された地元サロンとのトークセッションやカットセミナー、コラボステージなど充実した内容になりました。